

きれいな未来を作るエネルギー

Clean Energy for Asia

アジア開発銀行 格付:AAA(S&P)/Aaa(Moody's)/AAA(Fitch)



Asian Development Bank

# クリーンエナジー・ボンド

環境に優しいクリーンエネルギーの利用と、エネルギー効率の改善などを支援する債券

裏面のリスクに関する記載やその他の項目を必ずご覧ください。

お申し込み・販売説明書のご請求は



ゆたかな未来へ あなたとともに  
証券ジャパン

商号等:株式会社証券ジャパン  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号  
加入協会:日本証券業協会

# 売出要項



## アジア開発銀行 クリーンエネルギー・ボンド

期間7年 2017年9月29日満期

### ブラジル・レアル建円貨決済ディスカウント債券

年利率(税引前)

**0.50%**

(30/360ベース)

ブラジル・レアル建の表面利率

売出価格

額面金額の

**65.70%**

最終利回り

**8.222%**

(注1) 利回り、利率はブラジル・レアルベースです。(為替・税金の考慮をしております)

発行体	: アジア開発銀行 (ADB)
格付	: AAA (S&P) / Aaa (Moody's) / AAA (Fitch)
償還価格	: 額面金額の100%
最小券面	: 額面10,000レアル単位※ (但し、当社が決定した為替レートにより円貨でのお支払い)
売出国	: 2010年9月1日～9月28日
発行日	: 2010年9月29日
受渡日	: 2010年9月30日
償還日	: 2017年9月29日
利払日	: 毎年3月29日および9月29日(年2回)

※ お申し込み単位につきましては、担当者までお問い合わせください。

## 地球は、“今”温暖化による深刻な環境問題に直面しています

アジア・太平洋地域はめざましい経済成長を続けています。この急速な経済成長により、エネルギー需要や交通量が増え、地球環境に大きな負担がかかっている現実があります。

二酸化炭素排出量の増加による地球温暖化の進展により、海面水位が上昇し、その結果、太平洋の島々で海岸侵食が進んでいます。干ばつにより農作物生産が壊滅的な打撃を受けています。更には台風や洪水も頻繁に発生するなど私たちの生活にさまざまな影響をもたらしています。

クリーンエネルギー・ボンドは、環境にやさしい、クリーンなエネルギーの供給を支援するための投資です。

地球温暖化は、社会的弱者、特に貧困層の生活に深刻な影響をもたらしています。また、その多くが、水道や電気などを利用できない状態にあります。

アジア・太平洋地域における「環境に優しいクリーンエネルギーの利用」と、「エネルギー効率の改善」、などを実現するための資金を調達する事を目的とした債券、それが、アジア開発銀行が発行する、「クリーンエネルギー・ボンド」です。



# クリーンエネルギー・ボンドの仕組み



投資家の皆様

債券購入



利払い  
償還



アジア開発銀行

融資



アジア開発銀行の  
融資プロジェクト

・クリーンエネルギー  
プロジェクト  
・エネルギー効率改善  
プロジェクト  
など

- ・本債券が償還されるまでの間、アジア開発銀行(ADB)は、すくなくともクリーンエネルギー・ボンドにより調達した資金と同額を、アジア・太平洋地域のクリーンエネルギーおよびまたはエネルギー効率改善プロジェクトへの投資に充当するよう最大限の努力を行います。
- ・本債券の元利金は、アジア開発銀行(ADB)の信用力のみに基づいて支払われるものであり、クリーンエネルギー分野におけるアジア開発銀行(ADB)の投融資のパフォーマンスに基づいて支払われるものではありません。

## ADBが支援したクリーンエネルギー・プロジェクトの事例

### インドにおける風力発電所建設プロジェクト プロジェクトコスト:30億ルピー(約55億円)

インドはアジアにおける第3の電力消費国であり、石油などの化石燃料への依存が高まっています。インド政府は環境への負荷、原油価格の高騰を懸念し、再生可能エネルギーの利用を促進しています。アジア開発銀行は、80MWの出力を擁する大規模な風力発電所の建設を含む総額30億ルピー(約55億円)のプロジェクトに融資を行いました。このプロジェクトにより、20年間で200万トンの温室効果ガスの削減を目標としています。

### フィリピンにおけるエネルギー効率改善プロジェクト プロジェクトコスト:46.5百万米ドル(約40億円)

フィリピンでは、まだ多くの家庭やオフィスで“白熱灯”が使われています。フィリピン政府は、よりエネルギー効率が高く、白熱灯の20%の消費電力である電球蛍光ランプ(CFL)への交換を促進しています。アジア開発銀行は、15WのCFLを1300万個配布する総額46.5百万米ドル(約40億円)プロジェクトに融資しました。結果、一般家庭の1ヵ月平均で4.45米ドルの電気代削減につながりました。本プロジェクトにより、年間534千メガワット時のエネルギー削減と70,000トンのCO2の削減が見込まれています。



©ADB



©ADB

## ADB アジア開発銀行について

- ▶ アジア開発銀行(ADB)は、国際開発金融機関です。開発途上加盟国の貧困を削減し、人々の生活の向上を支援することを使命としています。
- ▶ 1966年に設立され、フィリピンのマニラに本部を構えています。現在は67の加盟国から出資を受けています。うち域内国は48カ国、域外国は19カ国です。日本は、ADB設立時からの加盟国であり、米国と並び最大の出資国の1つです。
- ▶ アジア開発銀行の主なパートナーは、政府、民間セクター、非政府組織(NGO)、開発機関、地域団体および財団・基金です。
- ▶ 設立以来、歴代総裁は全て日本人が選出されています。
- ▶ Moody's、S&P、FitchにおいてAAA格を保有しています。磐石な資本基盤、堅実なリスク管理、そして健全な資金調達戦略に裏打ちされた高い格付けを有しています。

## 本債券の主なリスク

---

- ① 価格変動リスク：途中売却の場合は、金利変動等による債券価格の変動により、投資元本割れのおそれがあります。
- ② 為替リスク：元利金は外貨によって表示されますが、支払は円によって行われるため、為替相場の変動により、円によるお受取り金額は増減し、損失を被ることがあります。
- ③ 信用リスク：発行体の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本割れや利金の支払いが遅延または不払いとなるおそれがあります。
- ④ カントリーリスク：通貨発行国の国情の変化(政治・経済・取引規制等)により、投資元本割れや途中売却ができなくなるおそれがあります。
- ⑤ 流動性リスク：途中売却の際、換金が困難な場合や不利な価格となり損失を被ることがあります。

## 手数料など諸費用について

---

- 本債券の購入は相対取引となるため、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 外貨建て債券の売買にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定したレートを使用いたします。
- 外貨建て債券の利息および償還金は、支払い時の一定の相場に基づき、一定の算式により換算された円で支払われます。

## 売買等に関する留意事項

---

- お申込の際は、必ず「契約締結前交付書面」「販売説明書」等に基づき、説明を受けた上でお申込ください。
- 本債券は売出債であり、売出期間中の販売価格(外貨)は額面金額の65.70%となります。
- 利金・償還金のお受取りは、原則利払日・償還日の翌日以降となります。
- 本債券の買付けには、「外国証券取引口座」の設定が必要となります。
- 売出額に限りがありますので、売り切れの際はご容赦ください。
- 外貨建て債券のお取引は、クーリング・オフの対象にはなりません。(金融商品取引法の第37条の6の規定の適用はありません)

## 税制に関する留意事項

---

- 利 金：20%(国税15%、地方税5%)の源泉分離課税の対象となります。
- 償 還 差 益：雑所得として総合課税の対象となります。
- 途 中 売 却 益：途中売却益は非課税扱いとなります。
- 今後、税制当局により税制について新たな変更が行われた場合は、それに従うこととなります。